

# つるせ西だより



～今月の特集～  
5月5日は子どもの日

第202号(5月号)2025. 5. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 72

## 風薫る5月 元気に育て

子どもたちにとって、3月4月は卒業、入学、進級と新しい色々な体験で忙しい月だったが、風薫る気持ちの良い5月は心も体も元気に弾み、遊びたい気持ちが大きくなっていくのではないだろうか。たくさん楽しく遊んで欲しいと思う。夢中になって遊ぶ喜びは人生の宝物。子どもたちの屈託ない表情や笑顔を見て、鼻の奥がツンとすることがある。歳を取り人生の宝物を体現している子どもや幼子を心から愛おしく感じるからだ。不安定な今の世界を乗り越えて、平和な世の中を生きて欲しい。

(撮影・文/熊井編集委員)



文化の杜公園にて

## まちかどウォッチング

### 富士見市の歩道にもベンチを

鶴瀬西交流センターの前の道を川越街道に向かった一つ目の信号手前(三芳町)の歩道脇にしっかりと3〜4人は休める大きさのベンチが作られました。鶴瀬駅までの途中にひと休憩、足腰に不安を抱える人にはホッとする瞬間ではないかなと思われる場所です。

鶴瀬駅にはまだまだ距離があります。富士見市側の歩道にも、2カ所ほどベンチがあればもっと気楽に歩けるかなと思われる。

目先を変えると、メイン通りでない信号機のある交差点の脇で、お年寄りの方が民家の植込みのコンクリートの囲いに腰かけておられるのを見かけました。一瞬でも休みたいのかもしれない、他人ごとではないと身を感じました。

最近道路わきのベンチはほとんど見かけませんが、住むのに優しい町にするには細やかな対応が必要ではないかと思えます。

(吉田)

